

環境性向上、コスト減順調

全量固定価格買い取り制度開始による再生可能エネルギーの導入増加に伴い、市場では競争が始まっている。もともと導入量の多い太陽光発電では日本の太陽電池メーカーが海外大手と激しい競争を繰り広げている。それでも日本メーカーは国内市場を死守、競争力となっているのが品質と保守だ。

再生エネ

2012年度に経済産業省から設備認定され、運転を始めた再生可能エネルギー

品質・保守で差別化

バイオマス導入容量を大きく上回った。運転は始まっているが設備認定済みのシステムが同326万キロワットあり、ソーラーシェアリングが続く。シャープや京セラ、三菱電機、パナソニックなど日本の太陽電池メーカーも市場拡大の恩恵を受けている。アジアや欧州から太陽電池の世界的大手が次々に日本市場に参入したが、日本勢は国内シェア70%を維持。また、品質・保守で選ぶ顧客が増えている(太陽電池メーカー関係者)からだ。欠陥や故障は売電収入の低下につながるため、品質や保守に関心が高まっている。例えば欧州では出力低下を招く「PID現象」



京セラなど国内4社のシステムはPID現象による出力低下が認められなかった

燃料電池

日本のモノづくり産業を陰で支えるエネルギー

業界。石油製品やガス、電力を低コストかつ安定的に供給する使命を果たしているが、他方では自らも技術力を生かしモノづくりに励んでいる。その代表格が燃料電池だ。家庭用の装置「エネファーム」は都市ガスや液化石油ガスから水素を取り出して発電と給湯を同時に行い、家庭の省エネルギーに寄与する。実用化では世界の最先端を走っており、国も日本のお家畜に育成する構想を描いている。

東京ガスとパナソニックが4月に発売する最新機種は、価格を199万円

集合住宅にも投入

東京ガスとパナソニックが4月に発売する最新機種は、価格を199万円

水ビジネス

人口増加などを背景に市場が拡大する水ビジネス。右肩上がりの成長を取り込もうと世界的に新規参入が相次ぐ中、日本企業は独自技術に磨きをかけ新たな需要を掘り起こしている。日立ブランドテクノロジは深海の



海外事業の拡大を目指す積水化学の管路更生工法「S-PR工法」

海外、現地社と開拓

層水を利用することで、従来の空調システムと比べ消費電力を約80%削減できる。オルガノはインドネシアの大手化学メーカーのラウタン・ルアス(ジャカルタ市)と合弁契約を結び、1月から水処理分野で合弁事業を始めた。アジアでは石油などのプラント向けに高度な水処理能力が求められる大型案件を開拓。オルガノの内田裕行社長は海外

初となる現地企業との合弁事業が「現地顧客を開拓できるか」の試金石になると気を引き締める。12年10月、ブルガリアの2都市で上下水道の管路更生工事を受注したのは積水化学工業。水道管を掘りかえずに管路を更生する「SPR工法」が技術の核で、同社を含む4社で開発した。受注

東京ガスとパナソニックが4月に発売するエネファーム

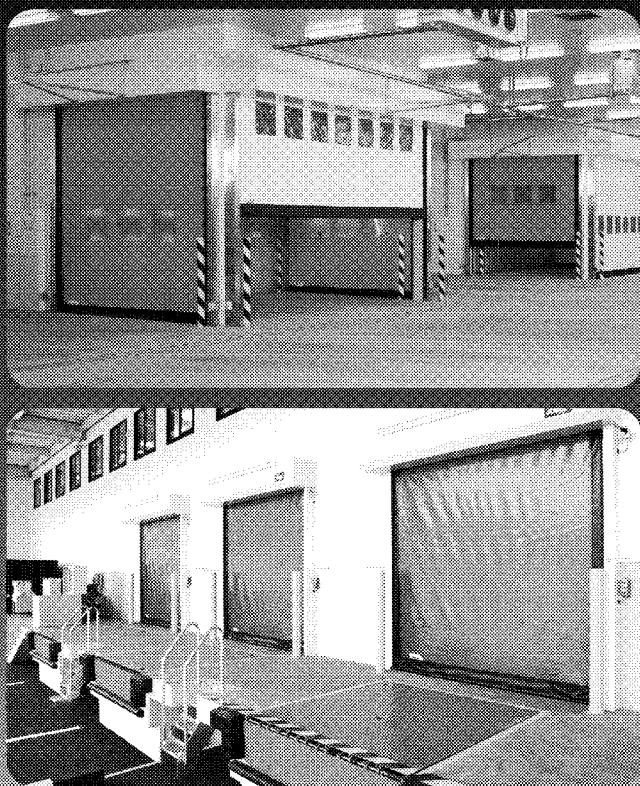


金を打ち切る

を後押ししたのは国土交通省の支援。11年に同省幹部が同国を訪問し、12年10月に政府間協議を行った。14-20年までのインフラ整備計画を策定中の同国に対し、積水化学は受注案件を機に事業拡大を目指す。

BX 文化シャッター

高速開閉 × 高気密設計



通常シャッターの
10倍
以上の高速開閉

高気密構造
ミニベードタイプ(屋内専用)ならさらに気密性アップ

NEW
ミニベードタイプ

温室効果ガス排出削減!
外気の流入を最小限に抑えることで、熱損失が小さく、CO2の削減効果があると認められました。

- 高速開閉・高気密設計で空調効果の保持、防虫、防塵、作業効率の確保に貢献します。
- 通常シャッターの10倍以上のハイスピードで開閉します。(当社比)
- 躯体部とレール部を密着させ、さらにガイドレールとガイドシールにより、ガイドレール部からの空気漏れを防ぎます。
- シートはバイプレス構造のため、物や大間風の破損を防ぎます。
- 現場の様々なニーズに対応する製品タイプを取り揃えております。従来よりさらに気密性能を高めた構造を持つ屋内専用の<ミニベードタイプ>、圧倒的にコンパクトな屋内専用の<ピコモ>もご用意しています。

高速シートシャッター
エア・キーパー

ダイマジン
大間迅

